

## 海外展開のススメ

### 実例編 パート④

# 小倉水産食品 味と信頼性で販路拡大

国際センター  
とビジネス

このコーナーでは、とっとり国際ビジネスセンター(竹内団地、夢みなどタワー内)が境港で積極的に海外展開を行う企業へのインタビューを掲載しています。今回紹介するのは、(株)小倉水産食品(中野町、小倉雅司社長)です。

「海外展開のきっかけは、何だったのでしょうか。」

「当社の売り上げはほぼ100%、国内での取り扱いですが、日本の人口減少や、食文化の変化などを考えると、外需の獲得も必要になると考えました。」

「昨年、ビジネスセンターの紹介で香港企業と商談し、自社の強みである『境港の魚をスピーディーに加工した美味しい商品』をPRすることで採用に至りました」

「販路開拓に当たって工夫している点は。」

「レシピや調理方法から販売価格まで、その店舗の立場で、お客様に寄り添った提案をすることで採用率が上がっています。また、当社の開設した यूーチューブチャンネル『こくらちゃんねる』で、商品の紹介を控えめに、会社の雰囲気や人間性をPRするなど、消費者に安心感を持ってもらえるような情報発信をしています。とても面白いので、ぜひ視聴・登録してください」

「今後は、どのような展開を予定していますか。」

「まずは、海外売上10%を目指して販路を広げたいです。ただ、直接海外に輸出しようとしても、自社で海外マーケティングから貿易実務まで対応することは難しいと思います。貿易会社や支援機関など、サポートしてくれる仲間がいれば、なんでもできる気がします。いずれは国内外のシェアが逆転する可能性もあると考えています」

「インタビュを終えて」

小倉社長は「常に鮮度の良い原料を使用し、高



同社の製品を紹介する小倉大造専務

品質の商品を提供することに注力している」と力強く語っていました。当センターも、同社の自慢の商品が海外販路を拡大できるような今後も支援していきたいと思えます。

詳しくは、当センター  
（☎ 30-3161）  
まで。